



多摩辺

学 校 だ よ り

昭島市立多摩辺中学校

校 長 堀 田 典 子

令和7年 12月1日



言葉の力を大切に

校 長 堀 田 典 子

早いもので、今年も残り一カ月を切りました。猛暑による熱中症が落ち着いたかと思えば、今度はインフルエンザの大流行。本校の感染状況は落ち着きましたが、近隣の小中学校では依然として学級閉鎖が出ています。何かと慌ただしい時期ではありますが、規則正しい生活と体調管理を心掛け、万全の状態で年始を迎えたいですね。

さて、11月のふれあい月間では、人との関わり方や言葉の大切さについて考える機会をもちました。本校では、生徒会本部を中心にいじめ防止に向けた提案があり、学級委員会、専門委員会でも、各委員会の特徴や役割が生かされた誉め言葉や「ありがとう」を意識する取り組みについて、生徒会朝礼の中で報告がありました。言葉には人を傷つける力もあれば、人を励まし、温かい気持ちにする力もあります。「ふれあい月間」は終わりましたが、これからも言葉の力を意識し、辛いときには励まし合い、仲間として互いを尊重し合える集団として、大きく成長してほしいです。

さらに本校では、「磨こう言葉の力」を合言葉に、生徒だけでなく教職員も日々の指導の中で、体罰を防ぎ、言葉によって子どもたちを支えることを意識しています。「よく頑張ったね」「一緒にやってみよう」など、ささやかな一言ですが子どもたちの不安な気持ちを軽くし、安心させることがあります。大人も子どもも学校全体で言葉の力を磨き合い、相互の信頼関係も築いていきたいと考えています。

保護者の皆様からのご意見やご心配の声を伺いながら、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう取り組みを進めていきたいと考えております。いじめや学校生活に関して不安や気になることがございましたら、どうぞ遠慮なく学校へご相談ください。子どもたちのよりよい環境づくりに活かしていきます。 【全校朝礼より一部抜粋】